

やさしい心
いたわる気持ち
いつもぼくのポケットに
ー福祉標語入選作品からー

笠間市社協 宍戸支部だより

第114号

平成28年3月15日発行

発行 笠間市社協宍戸支部長 伊東 勝男
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

たすねてみたら

No.89



ボウリングで 凛として生きる

矢野下
江田利二郎さん
(88歳)

ーボウリングを始めた動機はー
四十三歳の頃友部から神立の工業団地内の会社に勤務を変えた好景気の時代、会社近くにボウリング場がありプレーしたのが始まりで、会社のボウリングクラブに入会し、仕事帰り必ずゲームをしてから帰宅していました。
ー継続の秘訣はー
まず元気で病気をしなかった事が一番でした。
妻が六十代で要介護状態となった二十二年間、その介護のあい間にも友部、石岡等のボウリング場を利用しプレーを続けました。
ー普段の生活や練習量はー
ナポレオンは、寝なかつたことを

ー思い出や今後の目標はー
大会で何度か優勝したこと、プロボウラーの中山律子さんと共に撮った写真が宝物です。
全国長寿ボウリング協会番付で今は大関ですが横綱になりプレーをしたいです。世の中の情報に耳を傾け、良いと思うことは生活に取り入れ、前向きな生活をしていきたいです。健康でプレーをするには、食も大切な一つと思っています。

一番人気

自然観察会

高齢者に 生きがいと学ぶ意欲を提供

六十五歳以上の対象の「自然観察会」が十一月十八日に行われ四十五人が参加した。
宇都宮市にある二荒山神社、下野市にあるグリム館、しもつけの国風土記の丘資料館をガイドさん付きで訪ねた。
二荒山神社は歴史が古く、第十代崇神天皇の皇子（豊城入彦命）が、祭神として祀られている。
祭神は武徳にも優れ、武将の信仰が厚く、藤原秀郷公、源頼朝公、徳川家康公などが戦勝祈願をしたという。
旧石橋町は、グリム兄弟で有名なドイツのシユタイン（石）ブリュッケン（橋）村と姉妹都市を結び平成八年に「グリムの森・グリム館」を開館した。



▲二荒山神社で説明を聞く

森の中に入るとそこはグリム童話の世界。館内の本棚には、見覚えのある本がずらり。つかの間のドイツ文化を楽しんだ。
しもつけの国風土記の丘資料館では、多くの古墳の模型や出土品を見て、古代下野の歴史や文化を学んだ。
今回初めて参加の方も多く、その感想からは、●高齢者に生きがいと学ぶ意欲を提供して下さった。●充実した研修でした。来年も楽しみにしています。等が聞かれた。

二日ばかりの お正月料理に 「ごちそうさん」

一人暮らしの高齢者の皆さまに、新年お楽しみ配食が一月二十一日に行われた。六十五人の方は多彩なおせち弁当と、手づくり会が作った「レジ袋入れ」をこぶしの会の皆さんから手渡された。
当番は女性部一班（上・中・下町・橋爪）の皆さん。前日から二日間にわたり、延べ二十人が大寒の中、手づくりおせち料理に腕を振った。
まちづくり宍戸塾ほたるの里委員会が作る自慢の古代米は連作障害のため、今年は普通のもち米を北山の田んぼで作って赤飯と



▲ありがとうございます。

なった。
彩りもバランスもよく、健康的な心のこもったお弁当が出来上がった。
配食を受けた多くの高齢者からは「お寒い中ありがとうございます。いつもごちそうさまです」の言葉があった。

第28回 GROUND GOLF



▲個人の部 1位 川俣重穂さん
2位 中島 功さん 3位 谷 貞夫さん

のばそう健康寿命

雨で一日遅れとなったグラウンドゴルフ大会が、十月三十日北山グラウンドで開催された。市社協の小池次長は挨拶の中で長野県ではGNP（国民総生産）を元氣・長生き・ぼっくりと読み替え、このGNPを高めていると話し、会場を沸かせた。
参加選手は八十六人。さわやかな秋空のもと日頃の練習の成果を披露した。

果を披露した。

ホールインワンが十七人。個人の部では、三位までが一打差。団体の部では、橋爪AとCが二位決定戦をするなど白熱したプレーが展開された。

記録係としてデビューした女性部近藤さん（大古山）は、お年寄りが、はつらつとプレーしているのを見て、元気をもらいましたと話した。



▲松山団地内で

地域をきれいにして
新年を迎えよう
十一月二十九日の「クリーン作戦」に子どもたちも参加。

表彰者(敬称略)

☆団体の部

1位	松山団地松寿会A	123点
2位	橋爪いきいきクラブA	128点
3位	橋爪いきいきクラブC	128点

※2・3位はプレーオフによる

☆個人の部

1位	川俣 重穂	橋爪2区	37点
2位	中島 功	松山団地1	38点
3位	谷 貞夫	松山団地2	39点

豊富な「出し物」に満足

歴史も学んだ「ししどサロン」

二月二十四日旧陣屋コミュニティセンターで高齢者対象の「ししどサロン」が開催された。参加者は区長さんも含め三十一人と関係者十三人。

いずみ（五人）の皆さんは、遠くからでも見える大きな紙芝居や両手にスカーフを持ち、音楽に合わせて体を動かす踊りを披露し、皆も一緒に楽しんだ。



▲早変わりも鮮やかに決めた小松崎さん。南京玉すだれに拍手喝采。

小松崎美恵子さん（岩間在住）は一人でも楽しんで屋・小田原のういらう（のどの薬）売り・南京玉すだれの三役を早変わりでごなした。早口でしゃべる「ういらう売り」の口上や、終始面白おかしく話す言葉は、見る人を飽きさせない。プロの芸人と思うほどであった。

バルーンアートの小菅栄子さんから、細長い風船からかわいい動物が出来ることを教わり、心をなごませた。

午後は、南利秀先生から、旧陣屋の歴史を学び、郷土の先人たちに思いをはせた。

ビンゴゲームでは、耳を澄ませ番号の聞き取りに集中した。「はいリーチ」「ビンゴ」の声は大きく、商品を手にした皆さんの笑顔に若々しさを感じた。

<訓練> 支部社協厨房から火災発生！



▲火元をめがけて、本番さながらの消防訓練 12月17日

旧陣屋レクリエーションクラブによる「チャリティーそば会」が十二月六日に旧陣屋コミュニティセンターで行われた。子どもから高齢者まで、地域を問わずおいしいおそばがいただけるというあって、終始多くの人でにぎわった。調理から接待まで、総て男性が行っているというこの会から、社協六戸支部へ一万円のご寄付があった。

平成二十七年秋の叙勲に元支部長の桑野郭延さん（八反山）が長年の国勢調査員としての功績がたたえられ、瑞宝単光章を受章されました。おめでとございます。

ふれあって成長する六戸っ子

下町 深澤日出男

十月二十四日土曜日に行われた六戸小学校「三世代ふれあいの集い」は、地域の皆様と六戸小学校児童とのふれあいの場となりました。

家族はもちろんのこと、普段からお世話になっている六戸地区の皆様のために、吹奏楽部のオーブニング演奏から始まって、一年生から六年生まで学年ごとに歌や踊りやちよつとした劇を披露してくれる楽しいイベントです。

グラウンドではPTAの皆さんが餅つきをしています。米は四五・六年生が五月に田植えをし、九月に稲刈りを行っています。

まちの声・むらの声

十時三十分からは、社協六戸支部の協力も得た昔遊びのコーナーや、各教室では、縦割り班、つまり一年生から六年生で一つの班を作り先輩後輩と一緒に手作りのゲームコーナーを運営しています。

そのゲームコーナーでは保護者の皆さんや子どもたちがいろいろな手作りゲームにチャレンジしています。

子どもや孫が卒業して、いないからと考えず、六戸の子どもたちの成長を楽しみながら、ぜひ六戸小学校に足を運んでいただき、見て・参加して・最後にみんなでお雑煮を食べていただきたいものです。



▲おはじき遊び



▲もちつきを体験

六戸地区の将来を担う児童は地域の協力によって成長しています。いによつて成長しています。

「三世代ふれあいの集い」は素晴らしい六戸小学校の伝統行事ではないでしょうか。次回もたくさんのご参加をお願い致します。

（六戸小PTA会長）

地域の人に感謝



旧陣屋3区 森田琴美

今年の「三世代ふれあいの集い」は、私たち六年生にとつて最後であり、思い出深いものとなりました。

私は、縦わり班活動で「魚つり」を行いました。計画や準備などは順調にできましたが、当日にハプニングが起こってしまいました。魚つりは人気で地域の方々や小さ

な子どもたちがたくさん来てくれました。しかし、つり糸がからまつてしまいできなくなつてしまったのです。六年である私は、すぐに糸をほどこうとしましたが、なかなかほどこけず困っていました。

その時、その場にいた地域の方がほどこくの手伝ってくれたり、手直しのアイデアを教えてくださいました。

最後の三世代ふれあいの集いを楽しい思い出として残すことができ、地域の方の優しさに大変感謝しています。

見聞を広める

古河市を訪ねて

十月二十二日、女性部四十五人は社協の大型バスに乗り込みました。行先は古河市にある歴史博物館とトモエ乳業です。

古河市は家康の墓所である日光東照宮参拝時の宿泊所で重要な処です。大規模藩であり重要な藩主が置かれました。古河藩土井家十一

配食弁当のつくり方を勉強

十一月三十日高齢者の食事学（配食弁当のつくり方）に、女性部二十七人が参加し学んだ。

管理栄養士の小澤美智子先生は「特に目に見えない細菌の食物への付着が食中毒につながる。おいしいお弁当を安心して召し上がっていただくためには、つくり手一人ひとりが充分に注意する必要があります」と話した。

食材は大根や里芋など、旬のものを使った煮込み料理で、食べやすく、とてもおいしく出来上がった。



▲トモエ乳業で

午後からはトモエ乳業です。清潔な社内、製造機械等に感動しました。別室の牛乳博物館では、牛乳関連品が沢山陳列されていて、牛乳を愛した先代社長の人柄がしのばれました。

おみやげをいただき、楽しい一日を過ごしました。来年はどこへ行くのが楽しみです。

小川福子（旧陣屋一区）

初めて参加した方は、「来て良かった。とてもよい勉強になりました」と感想を述べた。



▲高齢者にやさしいメニューで